

「つや姫」栽培管理情報 第1号



～ 1.9mm 選別ふるい目に対応した米づくりの実践～

平成30年4月24日



7作目の「つや姫」がスタート

育苗と移植、初期の本田管理を今一度確認

「つや姫」が本県の奨励品種に採用されてから7作目、またマイスター制度が始まってから5作目の春を迎えました。

さて、昨年を振り返ると、

- ・面積が大台 (1,000ha) を突破し 1,121ha に拡大
 - ・登熟期間の高温に耐え一定の収量と品質を確保し、「コシヒカリ」に対して優位性を発揮
 - ・「1.9mm 選別ふるい目」の普及率が西日本1位に躍進
 - ・「JAしまね『つや姫』研究会」において統一肥料が決定
 - ・「米の食味ランキング (日本穀物検定協会)」において3度目の「特A」を取得
- 等大きな成果がありました。本年は、これらの成果を生かし、また実践する一年と考えています。

当センター技術普及部では、この情報紙やマイスター研修会での生育状況や栽培管理等の発信、マイスターほ場での大粒化や収量安定の実証等により、「つや姫」の高品質、安定生産を進めていきます。

1 当面 (育苗～田植え～分けつ初期) の栽培管理ポイント

- 良質苗の育苗
- 適正な株間と植付本数
- 地力に応じた確実な施肥^{※)}
- 活着から分けつ初期の水管理
- 効果的な除草剤使用^{※)}

※) 特別栽培基準を厳守

化学肥料の窒素成分量：4kg/10 以下、

節減対象農薬の使用回数：10回 (成分) 以下

□良質苗の育苗

- ・今後は、気温が高くなることで、ハウス内の温度が急激に上昇し、病気の発生や床土が乾燥しやすくなります
- ・そのため、細めに育苗ハウスを見回り、温度管理に注意するとともに、適度な灌水を行います

□適正な株間と植付本数

- ・植え付け株数は 60 株/坪 (株間 18cm) を基準とし、整粒比率の低下や玄米タンパク質含有率の増加に繋がりやすい極端な疎植は避けます
- ・また、植え付け本数は、3～4 本/株程度にします

□地力に応じた確実な施肥

- ・施肥設計の目安は、総窒素施用量 5.0kg/10a ですが、地力の高さにより ±1kg/10a の範囲内で調整します。

- ① 体系施肥 基肥：3.0kg/10a + 穂肥：2.0kg/10a
- ② 一発施肥 基肥：5.0kg/10a

- ・ただし、総窒素量のうち、化学肥料の窒素成分量は合計 4.0kg/10a とします
- ・また、有機態窒素入り一発肥料は、比較的容積重が軽く粒径が大きいため、側条施肥の場合、施肥機の調節目盛り通りに肥料が落ちにくい傾向があります。そのため、施肥機の日盛りを 10～20%多めに設定し、実際の施肥量を確認します

□活着から分けつ初期の水管理

- ・田植え後新根が伸びるまでの 3～4 日間は、保温効果を高め初根の発生を促すため、水深が 3cm より浅くならないように湛水します
- ・また、気温の低い時や風の強い時は、深水にして保温に努めます
- ・活着後は、除草剤処理期間を除いて 2cm の浅水とし、分けつの発生を促進します
- ・さらに、分けつが順調に発生し始めたら、土壌の還元化による根傷みを防ぐため、間断灌水を行うことでガスを抜き、根の健全化を図ります

□効果的な除草剤使用

- ・雑草の葉齢進展速度は、水温によって異なるため、処理時期を逸しないように注意します
- ・初期における一発処理剤の使用は、処理後の 1 週間、田面が露出しないようにすると効果的です。そのため、代かきを丁寧に行い、水もちを良くするとともに、ほ場を均平にします。さらには、水尻や畦畔から水漏れがないことを良く確認します

2 「つや姫」普及実証ほの状況

本県では、今年度も「つや姫」マイスターの各ほ場の実証ほを設置させていただき、「登熟向上による大粒化（高品質化）、収量の安定化」に取り組めます。

4 月 20 日（金）には、農業技術センターにおいて、実証ほ設置計画検討会を行い、以下のとおり、1 年間の計画を策定しました。

5 作目の節目となるマイスター実証ほにおいて、きっちりと成果をだしましょう。

(1) 目標（（ ）内は過去の実績）

生育指標達成者率 80%（－）、1 等米比率 90%（15～76%）、

収量 510kg/10a 以上比率 90%（46～57%）、1.9mm 歩留率 97%以上比率 70%（31～67%）

(2) 実証技術（（ ）内はか所数）

- ・土壌改良剤の施用（8）
- ・肥料による生育制御（6）
- ・土壌改良材の施用×肥料による生育制御（1）
- ・深水管理による茎数抑制（2）
- ・有機物の施用（3）

トピックス

全国における平成 29 年産「つや姫」の状況を紹介します。

本県は、検査実績によると、全国 3 位、西日本 1 位の産地です。

また、「米の食味ランキング（日本穀物検定協会）」においては、本出品した 3 県（4 産地）全てが「特 A」を取得しており、実需者からの更なる評価向上が期待されます。

表 H29年産「つや姫」の全国状況

府県名	検査実績 (トン)	シェア率 (%)	食味 \square ンキング
宮城	17,062	26.8	特 A
山形	39,321	61.7	特 A（置賜、村山）
島根	4,125	6.5	特 A
長崎	945	1.5	—
大分	2,278	3.6	—
宮崎	43	0.1	—
合計	63,773	100.0	—

※ 「検査実績」は、農林水産省公表(H30.3.26)

※ 「食味ランキング」は、日本穀物検定協会公表